

# こども版

## 野口清そうセンター 見学記

### 安良沢小学校 四年のみなさん

安良沢小学校四年のみなさんから、清そうセンターのおじさんたちに、お手紙がとどきました。とてもたくさんあるので、少しづつぬき書きしてみました。お便りどうもありがとう。(へん集部)

### 見学ありがとう

おじさんへ

おじさん元気ですか。ぼくも元気で。毎日ゴミが出てたいへんですね。(岩本賢一) 六月二十日の見学は、いろいろ教えてくれてありがとう。いろいろな教えてくれて、いろいろ説明をしてくれて、ありがとうございます。(黒沢智恵) おじさんは「このしようきやく場は、昭和四十九年十月にできたんだよ」とおしえてくれました。(川又晃) しようきやく場を作るには、いろいろなきそくがあることがわかりました。(増淵肇) 野口せいそうセンターをたてるのは、お金がたくさんかかりましたね。(青木隆) この前は、いそがしいところをいろいろせつめいしてくれて、どうもありがとう。ごさいました。あとで考えて、まだ

まだききたいことがあるような気がしました。でも、いろいろなことをきけて、よかったです。ありがとうございます。(小野祥代)

### 煙突が見えた

ぼくは、バスにのつてとちゅうまでいくと、なにかへんなにおいがあったので、なんのにおいだろうとおもったら、先生が「えんとつがみえる」といったので、野口せいそうセンターで、なにかもしているんだとおもった。(手塚和則) さいしよバスからおりたとき、生ぐさいにおいがしてきました。みんなハンカチで口や鼻をおさえました。わたしは「こんなくさい所ではたらいっているのはたいへんだろうな」と思いました。ほんとうにごくろうさまです。(平本雪絵)

### 重量計にのって...

はじめにみんなで赤い鉄のマットのようなものにつたとき、一トンちよつとになりました。きかいのしかけが、よくできていると

思いました。(飯見良子) さいしよは、ゴミと車をあわせた数のKのメーターを見ておどろきました。なぜかというところ「清そう車とゴミを集めたおもしろさが四トンや二トンもでるのか」と、思ったからです。(菊地聡)

### ぜんぶ燃えるッ

それから、もやすところを見ました。みんな「あついよ」といった。はいがとびちつたりして、ぜん

### 大きいゴミにびっくり

さいごに、ぼくらで見たもえなごみがおちてきた所は、ずいぶんすごい大きいごみも出てくるんだな。それも清そうセンターを見せてくれたおかげです。(梶原剛)

### 空かんはつぶして

おどろいたことはまだあります。ビンやカン、は、こな、みたくしてうめ立て地へ運ぶのかと思つていましたが、売り、さい利用することや、鉄の缶よりも、アルミ缶の方が高く売れることです。(菅野昌之) 「清掃センターのきかいでつぶす」と、おじさんにきいたとき、ほんとうかなと思つていました。そして、おじさんがそこにつれていってくれました。カンをつぶすというの、ほんとうでした。(早川満) カンをつぶした一つのかたまりが、三十五kgもあるとは思いませんでした。三十五kgといつたら、ぼくの体重とおなじなので、

おどろきました。(手塚欣之) かわれたなべなどをつぶして、四角いような形を作つて、その



野口清そうセンター

重さが約三十kgぐらいなどとせつ明してくれたので、後でノートにまとめるときもよくわかりました。(新井潤) びんはちや色い色のものはすてないで、うるのと、うらないで、とうめいのものにはまぜて、だいたいのつぶくりにしてしまつと、話してくれた。かんは、まぜてつぶしたものがまざつて、四角になつてしまつたのがふしぎになつた。五十斤のえんとつのそのうじのしかたがしりたかつた。(薄井博之)

### 三十七人で処理

また上に帰つてきて、みんなですつもんをして、だれかが「ゴミしより場のひろさは、どのくらい